17 型液晶モニター
取扱説明書

型 名

アナログ RGB タイプ
CG-L17AW (ホワイト)
CG-L17AB (ブラック)
アナログ RGB/デジタル RGB タイプ
CG-L17DW (ホワイト)
CG-L17DB (ブラック)

このたびは、液晶モニターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みになったあとは、この取扱説明書は保証書とともに必ず保管してください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。商品本体と箱の製造番号が一致しているかお確かめください。

※本書は、基本的に CG-L17DW・L17DB の仕様で書かれています。

目 次

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。この表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告	人が死亡または重症を負う恐れがある内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負ったり財産に損害を受けたりする内容を示しています。

絵表示の意味

△ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

⃠ 記号は、してはいけないことを表しています。

● しなければならないことを表しています。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となります。

指定の電源電圧以外で使用しない

指定された電源電圧以外では使用しないでください。火災·感電の原因となります。

内部に物や水などを入れない

本製品の開口部から金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

万一異物が液晶モニターの内部に入った場合は、まず、本体の電源スイッチを切り、コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

万一本体内部に水が入った場合は、まず、本体の電源スイッチを切り、コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品の上に物を置かない

本製品の上に重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、ケガの原因となります。

衝撃を与えない

本製品の前面のパネルにたたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災･ケガの原因となります。前面のパネルには、絶対に衝撃を加えないでください。

裏ぶたは絶対にあけない

本製品の裏ぶたは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解、改造しない

本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものを乗せたり、電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、電源コードを熱機器に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。

もし、電源コードが傷ついてしまった場合は、販売店に電源コードの交換依頼をしてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

風呂場では使用しない

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの多いところへは置かない

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- 壁や家具から 10cm 以上離してください
- 押入れ、本箱などの狭いところに入れないでください
- じゅうたんや布団などの上に置かないでください
- テーブルクロスなどを掛けないでください
- あお向け、横倒しにしないでください

直射日光に当てない

直射日光の近くに置くと、パネルやキャビネット、部品に悪影響を与えますので、近くに置かないようにご注意ください。

パネルの下部を持って前後に傾けない

パネルを前後に傾けるときは、下部中央部を持たないでください。指がはさまれて、ケガの原因となります。

本製品に乗ったり、ぶら下がったりしない

倒れたり、壊れたり、落ちたりしてケガの原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

移動するときは接続コード類を外す

本製品を移動させる場合は、必ず接続コードを外したことを確認の上、行ってください。
コードが傷つき火災・感電の原因となります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

旅行などで長期間、ご使用にならないときは安全のため電源プラグを抜いてください。
火災・感電の原因となります。

お手入れの時は電源コードを抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。感電の原因となります。

電源プラグのほこりに注意する

電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると火災の原因となります。定期的に電源プラグを抜き、掃除してください。

電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- この画面に使われているTFTカラー液晶パネルは高精度な技術の応用で作られています。しかしながらスクリーンには画素が全く点灯しなかったり、永久に点灯し続けたりということがあります。また画面を横の方から見た場合、色や明るさにむらが生じてしまいます。この現象は故障ではなく、液晶では、この様な普通の現象は画面の機能故障には影響しないのでご安心ください。
- 画面表示を長期に渡って放置しないようにしてください。画面上に残像が出てくる原因になります。
- 画面の明るさが最小に設定されていると映像が見えにくくなります。
- コンピューター信号の質はモニターの質に影響する場合があるます。高性能ビデオ信号を使用することをお勧めします。
- 絶対にモニターを手で擦ったり、硬いもので叩いたりしないでください。
- このモニターやその付属品類は予告無しに品質改良させられる場合があります。

製品紹介

モニターとその付属品のチェック

次の品目がパッケージの中に付属されていたか確認してください。

液晶モニター ・・・・・・・・・・・・・・ 1 台
アナログ信号ケーブル ・・・・・・・ 1 本
音声ケーブル ・・・・・・・・・・・・・・ 1 本
電源コード ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 本
取扱説明書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 冊

注:

- デジタル信号ケーブルは市販をお使いください。
- 3メートル以内の長さのケーブルをご使用ください。

参考

Microsoft Windows XP は"Windows XP"を参照してください。Microsoft Windows Millennium は"Windows Me"、 Microsoft Windows 2000 は"Windows 2000"、Microsoft Windows 98 は"Windows98"、Microsoft Windows 95 は"Windows95"、Microsoft Windows Version3.1 は"Windows 3.1"を参照してください。プログラムを区別する必要がない場合には"Windows"が使われます。

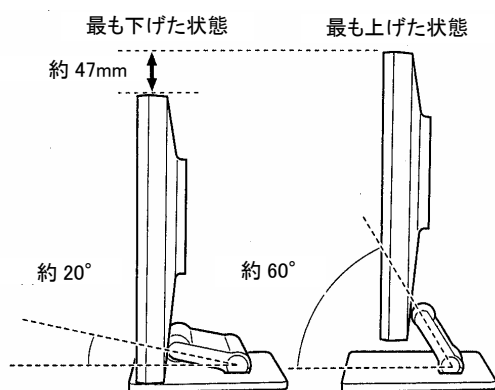
各部の名称

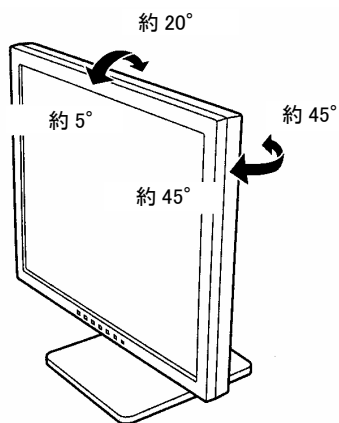
1．入力切換ボタン（INPUT） （CG-L17DW・L17DB のみ） 自動調整ボタン（AUTO） （CG-L17AW・L17AB のみ）	入力端子信号の切換えを行います。 自動調整を行います。
2. メニューボタン（MENU）	このボタンはポップアップ、選択、メニューを閉じる時に使用します。
3. ▼/MODE ボタン	モニターモード設定時に使います。 メニューが表示されているときは、メニュー選択に使います。
4. ◀ ▶ボタン/音量	バックライトの明るさ調整と音量の調整に使います。 メニューが表示されているときは、オプション選択や選んだオプションの調整に使います。
5. 電源ボタン	ボタンを押すと電源が入り、もう1度押すと電源が切れます。
6. 電源 LED	本製品の電源が「入」のとき、緑色に点灯し、パワーセービングモードのときは橙色に点灯します。
7. 主電源スイッチ	
8. 電源端子	
9. アナログ RBG 入力端子1	アナログ入力信号（VGA）ケーブルを接続します。
10. DVD-I 入力端子 （CG-L17DW・L17DB のみ）	コンピューターのデジタル RGB 出力端子を接続させることが出来ます。市販のケーブルが必要です。 DVI 準拠の出力端子（DVIーD24pin,DVI-I29pin）を持ち、SXGA 出力が可能なコンピューターと接続させることができます。（ただし、接続するコンピューターによっては、正しく表示されないことがあります。）
11. セキュリティーロック	セキュリティーロック（市販）をセキュリティーロックアンカーに接続することによってもモニターの盗難防止になります。 セキュリティースロックは Kensington Micro Saver Security Systems に対応しています。
12. 通風孔	通風孔を塞ぐことは絶対に避けてください。モニターの内部が過熱状態や機能故障につながる恐れがあります。
13. 音声入力	コンピューターの音声出力を接続します。

高さ、角度調整

注意！！

- 液晶パネルの上から手などで押したりすると故障の原因になります。
- モニターの上に物を載せないでください。無理にモニターを動かすとダメージを与える可能性があります。
- 指をはさまないように注意してください。

高さ調整

- モニターの位置を高くする場合スタンドをしっかり持ってください、モニターと一緒に動くことはありません。

角度調整

コンピューターへの接続

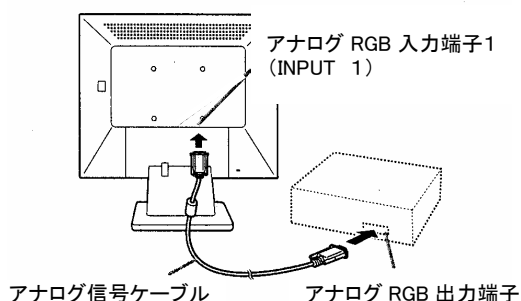
注意！！

- 接続する時、モニターとコンピューターの両方の電源が切になっているか確認してください。
- 過度にケーブルを折り曲げたり、延長コードを足したりしないでください。機能故障の原因になる恐れがあります。

コンピューターへのモニター接続

アナログ接続

アナログ信号ケーブルをコンピューターのアナログ RGB 出力端子に接続します。

- アナログ接続では、付属品のアナログ信号ケーブル、もしくは市販のものを使用してください。（mini D-sub 15pin）

- コネクターの接続方向に注意してしっかり信号ケーブルをコネクターに差し込み、その後左右のねじを締めてください。

アップルのマキントッシュに接続する場合、マッキントッシュ変換アダプター（市販品）をアナログ信号ケーブルに取り付けてください。

注:

Sun Ultra シリーズに接続する場合、変換アダプター（市販品）が必要になります。

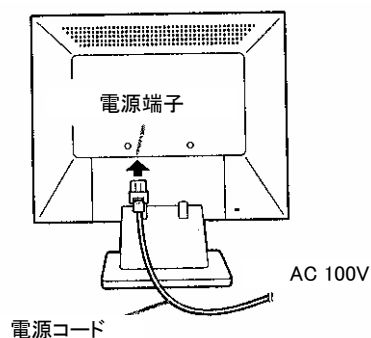
デジタル接続（CG-L17DW・L17DB のみ）

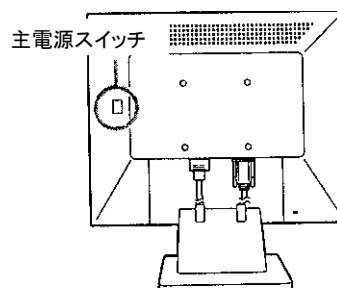
アナログシグナルケーブルをコンピューターのアナログ RGB 出力端子に接続します。

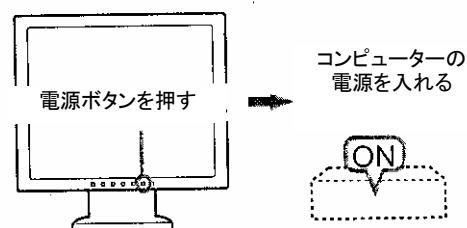
- モニターにはコンピューターに接続する為の DVI 準拠の出力端子（DVI－D24pin,DVI-I29pin）を持ち、SXGA 出力が可能なコンピューターと接続させることができます。（ただし、接続するコンピューターによっては、正しく表示されないことがあります。）

- コネクターの接続方向に注意して、しっかり信号ケーブルをコネクターに差込み、その後左右のねじを締めてください。

モニターの接続と電源入/切

電源へのモニターの接続

電源オン

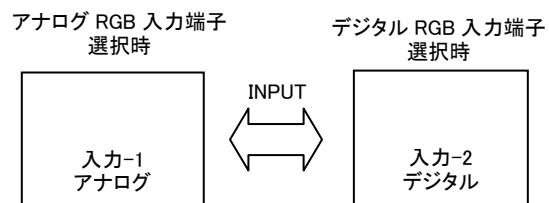
1. モニターの主電源をオンにしてください。

- 主電源を入/切に切り換える時は、常に少なくとも5秒の間隔をあけてください。急なスイッチの入り切りは、故障の原因になります。

2. モニターの電源ボタンを押してください。電源LED が橙色に点灯します。
3. コンピューターの電源を入れてください。

- 信号がコンピューターから入力された時、電源LED が緑色に点灯します。その後スクリーンが表示されます。（電源を入れた後、スクリーンが表示されるまで少し時間が掛かるかもしれません。）
- コンピューターに接続されている入力端子が間違っている場合、スクリーンは表示されません。その様な場合は、入力端子の切り換えを行ってください。

注:

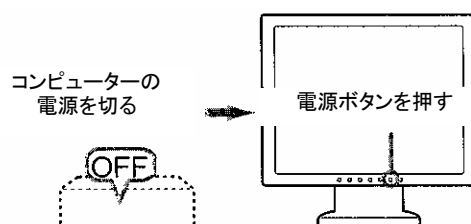
- アナログ信号を使用する場合、以下に適する状況の時には自動スクリーン調整を行ってください。
- モニターを初めて使用するとき
- システム設定を行った後
- ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本製品のみの表示となるように設定してください。

入力端子の切り換え（CG-L17DW・L17DB のみ）

INPUT ボタンを使用し入力信号端子を切り換えてください。

注：

入力信号が無い場合、[NO SIGNAL]と表示されます。

電源の切り方

1. コンピューターの電源を切にしてください。
2. モニターの電源ボタンを押してください。電源 LED が消えます。

モニターを長時間使わない場合、モニターの主電源スイッチを切にして、コンセントから電源プラグを抜いてください。

画面の調整

アナログ信号

1. 最初の操作に自動調整を行います。
2. 必要であれば手動調整を行ってください。

デジタル信号（CG-L17DW・L17DB のみ）

モニターは通常調整無しに使うことが出来ます。
調整が必要であれば手動調整を行ってください。

注：

電源を切った後でも全ての調整は記憶されます。

全ての調整値をリセットする

全ての調整値は1つの操作によって元の値に戻ります。

1. モニターの電源を切にしてください。
2. MENU ボタンを押して、同時に▼／ MODE ボタンを押してください、その間に電源ボタンを押してください。（電源オン状態）。 そのまま[ALL RESET]がスクリーンに表示されるまでボタンを押し続けてください。 画面のメッセージが消えたら、リセットが完了です。

注：

- [ALL RESET]が表示されている間、コントロールボタンは表示されています。
- 調整がロックされている時はリセットすることが出来ません。操作コントロールボタンを試みる前に調整ロックを解除してください。

スクリーンメニューのリセット

SCREEN メニュー（CLOCK,PHASE,H-POS, V-POS）の項目設定はオリジナルの設定に戻すことが可能です。

1. モニターの電源を入れてください。
2. MENU ボタンを押しながら◀ボタンを押してください。[RESET]が画面に表示されたらリセットが完了です。

注：

調整がロックされている場合、リセットすることは出来ません。操作コントロールボタンを試みる前に、調整ロックを解除してください。

ロック機能の調整

操作ボタンをロックすることによって、どんな調整を行おうとしても記憶されません。

1. モニターの電源を切にしてください。
2. MENU ボタンを押しながら電源ボタンを押してください（電源オン）。そのまま[ADJUSTMENT LOCKED]とスクリーンに表示されるまで押し続けてください。メッセージが表示されたらロック完了です。

注：

ロックが掛かっている時は電源ボタン以外の全てのボタンはロックになります。

ロック解除の調整

1. モニターの電源を切ってください。
2. MENU ボタンを押しながら電源ボタンを押してください。（電源オン） そのまま[ADJUSTMENT UNLOCKED]のがスクリーンに表示されるまで押してください。
 メッセージが表示されたらロックが解除されます。

バックライトの調整

1. OSD メニューが画面になければ、◀ボタンか、▶ボタンを押してください。

2. ◀ボタン（暗くする）か、▶ボタン（明るくする）を押すことで調整してください。

注：

最後の動作の後、調整画面が数秒で消えます。

音量の調整

1. OSD メニューが画面になければ、◀ボタンか、▶ボタンを押してください。

2. ◀ボタン（小さくする）か、▶ボタン（大きくする）を押すことで調整してください。

スクリーン表示の調整

注:

・本製品は、出荷時のメニューが英語になっています。

・本書はメニューの図が英語モードで書かれています。

・メニュー言語を日本語にするには下記のように設定してください。

1. MENU ボタンを 4 回押し、モード選択メニュー(MODE SELECT)を表示します。
2. ▼/MODE ボタンで LANGUAGE を選択します。
3. ▸ ボタンを押してください。言語選択メニューがスクリーンに表示されます。
4. ▼/MODE ボタンを使って日本語を選んでください。
5. MENU ボタンを押してください。
   言語選択メニューが消えます。
6. MENU ボタンを押してください。
   メニューが消えます。

GAMMA 設定

GAMMA(色合いや明るさ)は1つのボタンで切り換えることが出来ます。

GAMMA 1(標準)

液晶モニターの本来の色合いを生かした表示になります。

GAMMA 2

明るさを下げて表示します。他のモードを使うよりも目が疲れにくい表示になります。

GAMMA 3

IEC(international Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際基準です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、オリジナル画像に基づいた色合いでの表示になります。

GAMMA 4

原色をダイナミックな表示になります。

注:

[GAMMA1]　[GAMMA2],[GAMMA3],[GAMMA4]に設定されている時は[COLOR]が[6500]に設定されています。

設定方法

OSD メニューが表示されていない時、▼/MODE ボタンを押してください。

くり返しボタンを押すと順番に項目が現れます。

(GAMMA1→GAMMA2→GAMMA3→GAMMA4→GAMMA1)

最後の操作の数秒後、画面上の設定表示が消えます。

画面表示の調整(アナログ信号使用時)

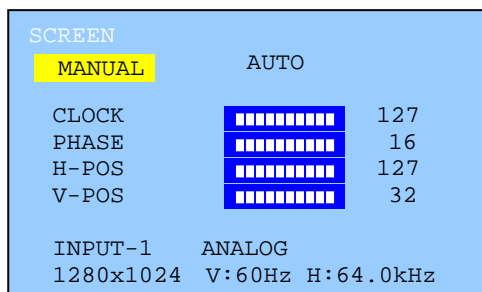
自動画面調整

SCREEN MENU の項目は自動的に調整することができます。
(CLOCK,PHASE,H-POS,V-POS)

注:

モニターのセットアップを始めて行う時や現在のシステムを変えた時は、使用する前に自動スクリーン調整(AUTO)をしてください。

自動的スクリーンの調整

1. MENUボタンを押してください。SCREEN MENU が表示されます。

2. ▶ボタンを押してください。スクリーンが暗くなり[ADJUSTING]と表示されます。数秒後 SCREEN MENU に戻ります。(自動調整完了です)
3. メニューーを消すには MENU ボタンを4回押してください。

注:

- ほとんどの場合、自動調整で問題ありません。
- 最初の自動調整では正確な調整が不可能かもしれません。その場合、自動調整を2, 3度繰り返してください。
- 次にあげる項目の場合、自動調整後の手動調整が必要になります。
  - ① 適切な調整が更に必要とされる場合。
  - ② コンピューターのビデオ入力信号が複合 Sync や Sync On Green であるとき(自動調整ができないかもしれません)。
  - ③ [OUT OF ADJUST]が表示されている場合。(画面表示が暗い場合など、自動調整できないことがあります。自動調整をする場合は、画面全体が明るい画像に変更してみてください。)

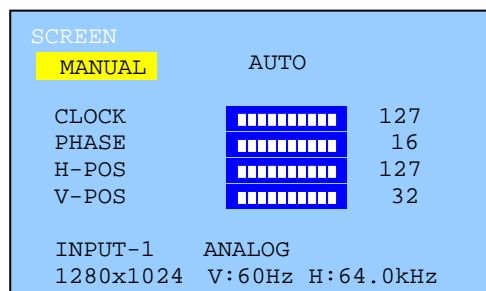
- 動画や MS-DOS プロンプトなどの画面では、自動調整が正しく作動しない場合があります。

画面表示の調整(アナログ信号)

手動画面調整

調整は SCREEN メニューを使って調整することができます。

調整方法

MENU ボタンを押してください。SCREEN メニューが表示されます。

必要な項目を調整します。
MENU ボタンを押すごとにメニューが切換わります。
(SCREEN→GAIN CONTROL→MODE SELECT→→COLOR→OSD メニュー削除)

注:

最後の操作の約30秒後、メニューは自動的に消えます。

スクリーンメニュー

手動(MANUAL): 各メニューオプションは手動で調整されます。
自動(AUTO): 全てのメニューオプションは自動で調整されます。

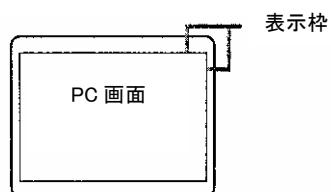
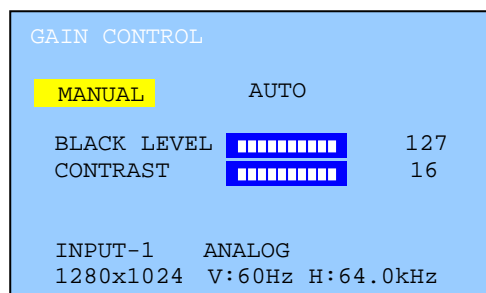
注:

- ▶ボタンを押して[AUTO]を選択してください。
- メニューオプションを選択: ▼/MODE ボタンを押す。
- 次のメニューに進む: MENU ボタンを押す。

CLOCK
画面に縦じま状のノイズが出ないように調整します。(◀▶ボタン)

PHASE
画面に横じま状のノイズが出ないように調整します。(◀▶ボタン)

注:
[PHASE]に調整するには[CLOCK]を正しく調整した後に調整してください。

H-POS(水平位置)とV-POS(垂直位置)
パソコンの画面が中央になるように、左右位置(H-POS)や上下位置(V-POS)を調整してください。(◀▶ボタン)

GAIN CONTROL MENU(映像調整)

手動(MANUAL): 各メニューオプションは手動で調整します。
自動(AUTO): 全てのメニューオプションは Auto Gain Control 機能を使って調整します。

注:

- ▶ボタンを押して[AUTO]を設定してください。
- メニューオプションを選ぶ: ▼/MODE ボタンを押してください。
- 次のメニューへ行く: MENU ボタンを押します。

Auto Gain Control 機能

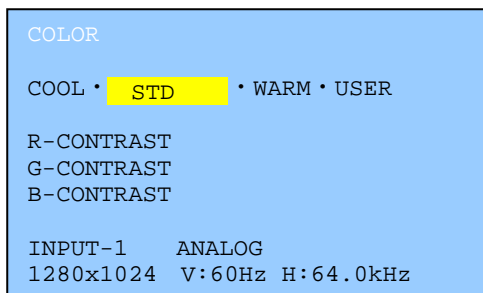
- Auto Gain Control 調整や黒の水準は画面画像が一番明るい色、一番暗い色の基準になっています。 調整には、スクリーンに5mm×5mmの黒い面積と白い面積が必要です。これらの面積部分が無ければ調整は不可能になる場合があります。
- コンピューターからの信号がコンポジットシンク(複合 Sync)や Sync on Green の時は、自動調整ができないことがあります。その時は手動調整を行ってください。
- [OUT OF ADJUST]が表示されている時は、手動調整を行ってください。
- Auto Gain Control 機能を使用している場合、[COLOR]を選択。[USER]に設定されている場合、Auto Gain Control 機能は使用できません。

黒レベル

画面の黒レベルを調整できます。(◀▶ボタン)

コントラスト

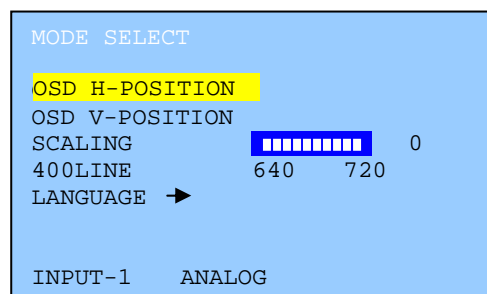
画面を見やすいコントラストに調整できます。(◀▶ボタン)

白色バランスメニュー

注:

- [STD]以外に設定すると全てのグラデーションは表示されません。全てのグラデーションを見る場合には STD]に設定してください。
- [DISPLAY MODE] が [GAMMA2],[GAMMA3],[GAMMA4]に設定されている場合、[STD]以外を設定することができません。
- ◀▶ ボタンを使って [COOL],[STD],[WARM],[USER]を選択してください。
- [USER]を選択すると各[CONTRAST]の設定数値が表示され、微調整ができます。
- ▼/MODE ボタンを使って各[CONTRAST]を選択してください。
- 次のメニューへ進む時: MENU ボタンを押してください。

COOL ・・・・・・・・色彩が標準よりも青っぽい。
STD ・・・・・・・・色彩が標準設定。
WARM ・・・・・・・・色彩が標準よりも赤っぽい。

USER
R-CONTRAST・・・・◀ ボタンで青緑色に設定
▶ ボタンで赤色に設定
G-CONTRAST・・・・◀ ボタンで紫色に設定
▶ ボタンで緑色に設定
B-CONTRAST・・・・◀ ボタンで黄色に設定
▶ ボタンで青色に設定

モード選択メニュー(MODE SELECT)

注:

- 入力信号の判断によってたとえメニューオプションを選択出来たとしても、モニターは変換されない場合があります。
- メニューオプションを選ぶには:▼/MODE ボタンを押してください。
- 調整を完了させる: MENU ボタン

OSD H-POSITION (OSD horizontal position)

OSD メニューの場所は左右に移動させることができます。(◂▸ボタン)

OSD V-POSITION (OSD vertical position)

OSD メニューの場所は上下に移動させることができます。(◂▸ボタン)

縮小、拡大比(縮小、拡大比のレベル)

拡大常時の画像のシャープさを調整することができます。(◀▶ボタン)

注:

ディスプレイモードが1280×1024ピクセル以下に設定されている場合、画面はフルスクリーンサイズに拡大されます。(モニターのアスペクト比が変わることがあります。)

400 ライン解像度

400 ライン画面の水平解像度を設定します。(◀▶ボタン)

640:640×400 モード

720:720×400 モード

注:

400 ライン以外は自動的に入力判断されますので、設定する必要はありません。

言語

メニューを使用して言語を選択することが出来ます。

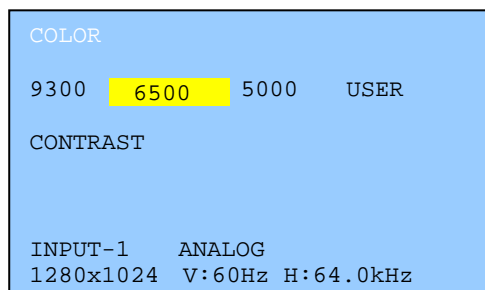
1. ▸ ボタンを押してください。言語選択メニューがスクリーンに表示されます。
2. ▼/MODE ボタンを使って言語を選んでください。
3. MENU ボタンを押してください。言語選択メニューが消えます。
4. MENU ボタンを押してください。メニューが消えます。

画面表示の調整(デジタル信号)

(CG-L17DW・L17DB のみ)

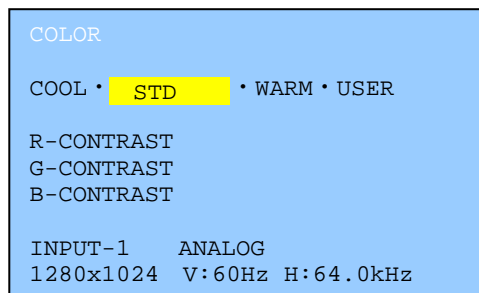
メニューから調整することが出来ます。

調整方法

MENU ボタンを 3 回押してください。COLOR メニューが表示されます。

必要な項目を調整します。
MENU ボタンを押すごとにメニューが切換わります。(COLOR→MODE SELECT→メニューが削除されます。)

注:

最後の操作が終了後約30秒後、メニューが自動的に消えます。

白色バランスメニュー

注:

- [STD]以外に設定すると全てのグラデーションは表示されません。全てのグラデーションを見る場合には STD]に設定してください。
- [DISPLAY MODE] が [GAMMA2],[GAMMA3],[GAMMA4]に設定されている場合、[STD]以外を設定することができません。
- ◀▶ ボタンを使って[COOL],[STD],[WARM],[USER]を選択してください。
- [USER]を選択すると各[CONTRAST]の設定数値が表示され、微調整ができます。
- ▼/MODE ボタンを使って各[CONTRAST]を選択してください。
- 次のメニューへ進む時: MENU ボタンを押してください。

COOL ････････色彩が標準よりも青っぽい。
STD ････････色彩が標準設定。
WARM ････････色彩が標準よりも赤っぽい。

USER
R-CONTRAST････◀ ボタンで青緑色に設定
▶ ボタンで赤色に設定
G-CONTRAST････◀ ボタンで紫色に設定
▶ ボタンで緑色に設定
B-CONTRAST････◀ ボタンで黄色に設定
▶ ボタンで青色に設定

モード選択メニュー

注:

- 入力信号の判断によってたとえメニューオプションを選択出来たとしても、モニターは変換されない場合があります。
- メニューオプションを選ぶには：▼/MODE ボタンを押してください。
- 調整を完了させる： MENU ボタン

OSD H-POSITION (OSD horizontal position)

OSD メニューの場所は左右に移動させることができます。(◄►ボタン)

OSD V-POSITION (OSD vertical position)

OSD メニューの場所は上下に移動させることができます。(◄►ボタン)

縮小、拡大比(縮小、拡大比のレベル)

拡大常時の画像のシャープさを調整することができます。(◄ ►ボタン)

注:

ディスプレイモードが1280×1024ピクセル以下に設定されている場合、画面はフルスクリーンサイズに拡大されます。(モニターのアスペクト比が変わることがあります。)

400 ライン解像度

設定の必要ありません。

言語

メニューを使用して言語を選択することが出来ます。

1. ► ボタンを押してください。言語選択メニューがスクリーンに表示されます。
2. ▼/MODE ボタンを使って言語を選んでください。
3. MENU ボタンを押してください。言語選択メニューが消えます。
4. MENU ボタンを押してください。メニューが消えます。

モニター管理と修理

モニター管理

モニターを掃除する時は、コンセントをプラグから抜いてください。

キャビネットと操作パネル

やわらかい乾いた布を使ってキャビネットや操作パネルからほこりを拭きとってください。
とても汚れている時は、中性の洗剤を湿ったやわらかい布に注ぎ、よく絞った後ほこりを拭き取ってください。

液晶パネル

やわらかい乾いた布を使って液晶パネルの表面にある汚れやほこりを拭き取ってください。(ガーゼやメガネレンズに使用するような布が良いでしょう)

注意！！

- 拭き取る際、シンナーやベンジン、アルコール、ガスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。使用すると色が変わったり、変形したりする恐れがあります。
- モニターを押し付けたり、硬いもので傷をつけたりすることは絶対にやらないでください。傷や跡が残ったり機能故障を起こしたりする原因になります。

保管方法

モニターを長時間使用しない場合、コンセントからプラグを抜いておくよう、心がけてください。

注意！！

ゴムやプラスチック類の物をモニターに長時間触れさせないでください。色が変わったり、変形したりする恐れがあります。

修理

モニターが故障かなと思ったら、修理をする前に次にあげるポイントをチェックしてください。
それでも解決しない場合はモニターを購入した販売店に連絡してください。

モニターのバックライトには寿命があります。

- もしスクリーンが暗くなったり、持続的にチラチラしたり、明るくならなかったりする場合は、バックライトの交換が必要でしょう。モニターを購入した販売店にご連絡ください。
- 使い始めの時は、バックライトの特質により、画面がちらつくかもしれません。(その現象は機能故障ではありません。) この現象が起きたら、一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。

画像が画面に表示されない時 (発光ダイオードが点灯していない)

電源コードは正確に接続されていますか？

画像が画面に表示されない時 (発光ダイオードが点灯している)

- コンピューターは正確に接続されていますか？
- コンピューターの電源は入っていますか？
- 信号の入力端子は正確に切り換えていますか？
- コンピューターの信号タイミングはモニターの使用書と一致していますか？
- コンピューターはパワーセービングモード中になっていませんか？

画像が歪んで表示されている時

- コンピューターの信号タイミングはモニターの使用書と一致していますか？
- アナログ信号を使用している場合、自動画面調整を行ってみてください。
- あなたが使用しているコンピューターの解像度や周波数を変えてください。

操作ボタンが作動しない時

調整ロックがオンになっていませんか？

17 型仕様

液晶パネル
17 型（対角 43cm）TFT カラー液晶

最大解像度
SXGA 1280×1024 ピクセル

最大表示色
約 1620 万色

最大輝度
250cd/㎡

画素ピッチ
0.264(水平)×0.264(垂直)mm

対比率
430：1

視界の角度
左右 170 度/上下 150 度
（コントラスト比≧5）

表示画面サイズ
337.92mm×270.34mm

ビデオ信号
アナログ：アナログRGB（0.7Vp-p）［75Ω］
デジタル：DVI 規格 1.0 準拠
（CG-L17DW・L17DB のみ）

音声入力
Φ3.5mm ステレオミニジャック ×1

スピーカー
1W + 1W

同期入力信号
水平/垂直セパレート（TTL：正/負）、
シンク･オン･グリーン、
コンポジットシンク（TTL：正/負）

拡大補正
デジタルスケーリング（VGA/SVGA/XGA など
を SXGA に補正して拡大表示）

プラグ＆プレイ
VESA DDC2B 対応

電源管理
VESA : DPMS 準拠

入力信号端子
アナログ： 15pin mini D-sub(3 列)×1
デジタル/アナログ： DVI- I29 ピン×1
（CG-L17DW・L17DB のみ）

画面角度調整
チルト：上向き約. 0～20 度； 下向き約. 0～5 度
スイベル：左右約 90 度（ターンテーブルタイプ）

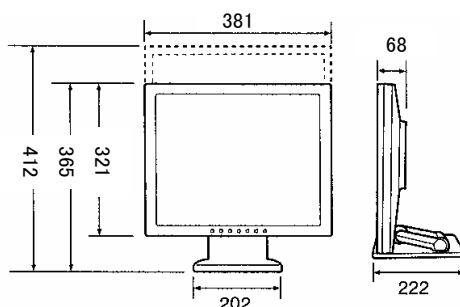
電源供給
AC100～240V, 50/60Hz

使用温度条件
5～35 度

消費電力
CG-L17DW・L17DB：最大 38W、待機時 1.6W 以下
CG-L17AW・L17AB：最大 36W、待機時 1.6W 以下

寸法
約 381(幅)×222(奥行き)×365～412(高さ)mm

質量
CG-L17DW・L17DB：約 6.3kg（本体のみ）
CG-L17AW・L17AB：約 6.0kg（本体のみ）

外形寸法図 （単位：mm）

付属品
・アナログ信号（VGA）ケーブル： 約 1.8m
・音声ケーブル：約 1.8m
・電源ケーブル

※商品の仕様、意匠は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

信号タイミングに関して

Display mode		Hsync	Vsync	Dot frequency
VESA	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
	1152×864	67.5kHz	75Hz	108.0MHz
	1280×960	60.0kHz	60Hz	108.0MHz
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz
US text	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz
Power Macintosh series	640×480	35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz
	832×624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz
	1024×768	60.2kHz	75Hz	80.0MHz
	1152×870	68.7kHz	75Hz	100.0MHz
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz
Sun Ultra series	1024×768	48.3kHz	60Hz	64.13MHz
		53.6kHz	66Hz	70.4MHz
		56.6kHz	70Hz	74.25MHz
	1152×900	61.8kHz	66Hz	94.88MHz
		71.8kHz	76.2Hz	108.23MHz
	1280×1024	71.7kHz	67.2Hz	117.01MHz
		81.1kHz	76Hz	134.99MHz

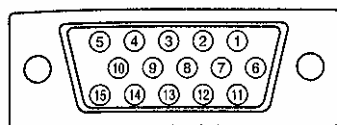
- 推薦解像度は 1280×1024
- 全てはノンインターレースでのみ対応。
- Power Macintosh や Sun Ultra シリーズの周波数は参考値です。
- 接続するには、他のアダプター（市販品）が必要となる場合があります。
- 本製品で対応していない信号タイミングが入力された場合、[OUT OF TIMING]が表示されます。タイミングを設定するにはコンピューターの説明書に従ってください。
- 本製品に何も信号（同期信号）が入力されていない場合,[NO SIGNAL]と表示されます。

信号タイミングに関して（デジタル）

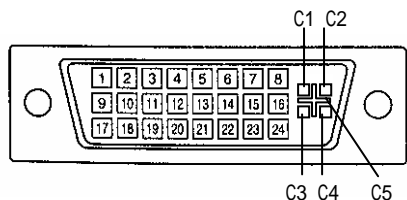
Display mode		Hsync	Vsync	Dot frequency
VESA	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
	1152×864	67.5kHz	75Hz	108.0MHz
	1280×960	60.0kHz	60Hz	108.0MHz
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz
US text	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz

- 推薦解像度は 1280×1024。
- 全てはノンインターレースでのみ対応。
- DVI(DVI-D24pin や DVI-I29)、を持ち SXGA 出力可能なコンピューターと接続出来ます。（接続するコンピューターによって正しく表示されない場合があります。）
- 本製品で対応していない信号タイミングが入力された場合、[OUT OF TIMING]が表示されます。タイミングを設定するにはコンピューターの説明書に従ってください。
- 本製品に何も信号（同期信号）が入力されていない場合,[NO SIGNAL]と表示されます。

アナログ RGB 入力接続子

（Mini D-sub 15pin 端子）

No.	Function
1	Red video signal input
2	Green video signal input
3	Blue video signal input
4	GND
5	GND
6	For red video signal GND
7	For green video signal GND
8	For blue video signal GND
9	+5V
10	GND
11	N.C.
12	DDC data
13	For H sync signal input
14	For V sync signal input
15	DDC clock

DVI－I 入力接続子（CG-L17DW・L17DB のみ）

（ DVI-I 入力端子 29pin）

No.	Function	No.	Function
1	TMDS data 2-	16	Hot plug detection
2	TMDS data 2+	17	TMDS data 0-
3	TMDS data 2/4 shield	18	TMDS data 0+
4	N.C.	19	TMDS data 0/5 shield
5	N.C.	20	N.C.
6	DDC clock	21	N.C.
7	DDC data	22	TMDS clock shield
8	V-sync Analog	23	TMDS clock +
9	TMDS data 1-	24	TMDS clock -
10	TMDS data 1+	C1	Analog red signal
11	TMDS data 1/3 shield	C2	Analog green signal
12	N.C.	C3	Analog blue signal
13	N.C.	C4	H-sync Analog
14	+5V	C5	Analog GND
15	GND		

電源管理

本製品は VESA DPMS や DVI DMPM スタンダードの基準となっております。
本製品の電源管理機能を作動させるには、ビデオカードやコンピューターも同規格に適応していなければなりません。

DPMS: モニターの電源管理信号

DPMS mode	Screen	Power consumption	H-sync	V-sync
ON	Display on	36W* 38W**	Yes	Yes
STANDBY	Display off	1.6W	No	Yes
SUSPEND			Yes	No
OFF			No	No

*：CG-L17AW・L17AB

**：CG-L17DW・L17DB

DPMP： デジタルモニターの電源管理

（CG-L17DW・L17DB のみ）

DPMS mode	Screen	Power consumption
ON	Display on	38W
OFF	Display off	1.6W

DDC（Plug & Play）

本製品は VESA DDC（画像データチャンネル）基準をサポートしています。
DDC は本製品やパソコン上の Plug & Play 機能を実行するための信号規格です。 それはモニターとパソコンとの間での解像度などの情報を受け渡しします。
コンピューターが DDC に対応しており、 Plug & Play モニターを検出する設定になっている場合に使用ことができます。
システム間の違いによって、DDC にはいくつかの種類があります、本製品は DDC2B に対応しています。

VESA マウントの取り付け方

VESA 規格に準拠した市販のアームやスタンドをモニターに取り付けることができます。 アームやスタンドは、お客様でご用意ください。

アームやスタンドの可能な使い方

取り付けする際、以下の項目を満たしていなければなりません。

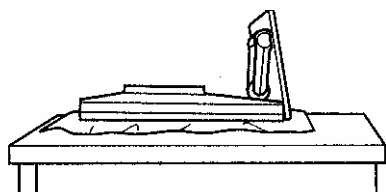
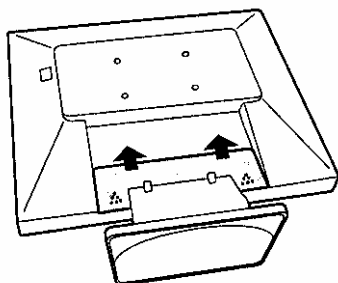
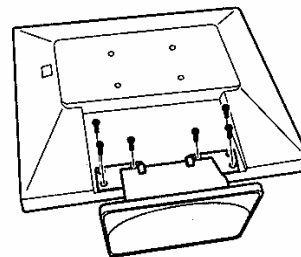
- VESA 規格準拠であること。
- 取り付ける部分のねじ穴の間隔が 100mm × 100mm のものをご使用ください。
- モニターへの接続後、落ちたり、外れたりしないか。

アームとスタンドの取り付け方

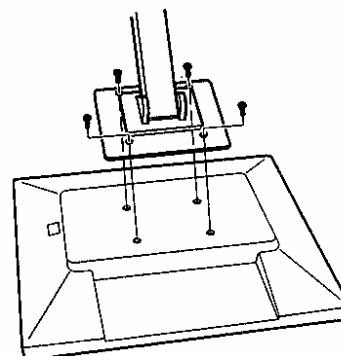
- むやみにケーブルを折り曲げたり、延長コードを取り付けたりしないように気を付けてください。

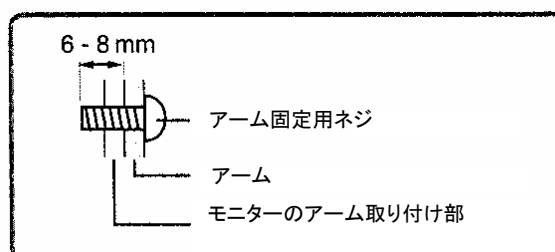
注意！！

モニターとスタンドの間に指を挟んだり、スタンドを倒したりしないように気をつけてください。傷を付ける恐れがあります。

1. ケーブルを取り外してください。
2. 適当な水平な場所の上にやわらかい布を広げてください。
3. モニターにダメージ与えない様に、モニター側を下にしたままモニターをゆっくり置いてください。

4. カバーを外してください。
   △エリアを押したまま、図の様に押し上げてください。

5. 6つのネジを外し、スタンドをモニターから取り外しいてください。

注:

- スタンドはこのモニターと使う為に設計されております。一度スタンドを取り外したら、他の装置を取り付けたりしないでください。
- 一度ネジを取り外したら、まとめてスタンドに取付けておき、次にスタンドを使用する時に、オリジナルのネジを使用出来るようにしておいてください。 種類の違うネジを使用すると、破損する恐れがあります。

6. アームをモニターに取り付ける時は4つのネジで取り付けてください。

注:

アームを取り付ける為のネジは、取り付けた表面から少々突き出るくらいの 6mm〜8mm の M4 ネジを使用してください。 違う種類のネジを使用すると、モニターが落ちたり、内部にダメージを与えたりする恐れがあります。

販売元
株式会社　コレガ
〒222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜 1-19-20

お問い合わせ先
デルタ電子株式会社　　サービスセンター
〒105-0023　東京都港区芝浦 1-13-10　第三東運ビル 3F
電話:03-5765-7451　FAX:03-5765-7452